

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2020-38268 (P2020-38268A)
【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)
【年通号数】公開・登録公報 2020-010
【出願番号】特願 2018-164813 (P2018-164813)
【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 2 4 B 9/14 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 4 日 (2021.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡レンズに加工治具であるカップを取り付けるカップ取付装置において、

前記眼鏡レンズの前面と、前記カップの取付面と、を平行に保つことで、前記カップを取り付ける基準面を前記眼鏡レンズの前面とし、前記眼鏡レンズを支持する第 1 レンズ支持手段と、

前記眼鏡レンズの後面と、前記カップの取付面と、を平行に保つことで、前記カップを取り付ける基準面を前記眼鏡レンズの後面とし、前記眼鏡レンズを支持する第 2 レンズ支持手段と、

前記カップ取付装置において、前記第 1 レンズ支持手段と前記第 2 レンズ支持手段とを切り換える切換手段と、

前記眼鏡レンズに前記カップを取り付けるカップ取付手段と、
を備えることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 2】

請求項 1 のカップ取付装置において、

前記切換手段は、前記第 1 レンズ支持手段及び前記第 2 レンズ支持手段をカップ取付装置に装着可能とする第 1 着脱手段を有し、前記第 1 着脱手段を用いて前記第 1 レンズ支持手段または前記第 2 レンズ支持手段のいずれか一方を取り付けることによって、前記第 1 レンズ支持手段と前記第 2 レンズ支持手段とを切り換えることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 のカップ取付装置において、

前記第 1 レンズ支持手段は、前記カップの取付面に対して回転自在な第 1 支持ピンを有し、

前記第 1 支持ピンに載置された前記眼鏡レンズの前面と、前記カップの取付面とを平行に保つことで、前記眼鏡レンズの前面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 4】

請求項 3 のカップ取付装置において、

前記第 1 レンズ支持手段は、さらに、前記眼鏡レンズの前面を押さえるレンズ押さえ手段を有し、

前記第 1 支持ピンに載置されるとともに前記レンズ押さえ手段に押さえられた前記眼鏡レンズの前面と、前記レンズ押さえ手段と、の当接面を平行に保つことで、前記眼鏡レンズの前面と前記カップの取付面とを平行に保ち、前記眼鏡レンズの前面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかのカップ取付装置において、

前記第 2 レンズ支持手段は、前記眼鏡レンズを載置する固定配置された第 2 支持ピンを有し、

前記第 2 支持ピンと、前記第 2 支持ピンに載置された前記眼鏡レンズの後面と、の当接面を平行に保つことで、前記眼鏡レンズの後面と前記カップの取付面とを平行に保ち、前記眼鏡レンズの後面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 6】

請求項 1 のカップ取付装置において、

前記切換手段は、前記第 1 レンズ支持手段と前記第 2 レンズ支持手段とを移動させる駆動部を有し、前記駆動部を駆動させることによって、前記第 1 レンズ支持手段と前記第 2 レンズ支持手段とを切り換えることを特徴とするカップ取付装置。